

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	市民文化部
	17093	地域まちづくり協議会支援事業	課名	まちづくり協働課 地域まちづくりG
	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化	財務科目	01:一般会計
	基本施策	01:自立した地域まちづくり活動の促進		02:総務費
	施策の方向	01:地域まちづくり活動の活性化		01:総務管理費
戦略プロジェクト	-	11:自治振興費		
事業予定期間	H 29 ~ R - 年度	主な根拠法令要綱等	亀山市地域まちづくり協議会条例	

② 目的・概要	対象	地域まちづくり協議会
	目的	亀山市地域まちづくり協議会条例に掲げる自分たちの暮らす地域を自分たちで創りあげるとい理念を尊重し、地域まちづくり協議会の活動を活性化させ、地域自らが地域の課題解決に向けて取り組む自立した地域まちづくりを促進する。
概要	地域まちづくり計画に基づき活動を行う地域まちづくり協議会を支援していくため、地域まちづくり協議会の財政的な基盤となる地域予算の交付や、地域まちづくり協議会の組織強化につながるよう地域担い手研修や地域まちづくり研修の開催を行うとともに、地域担当職員や専門的な助言を行うアドバイザー派遣等を行う。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<input type="checkbox"/> 地域まちづくり交付金の交付及び現行制度の検証・見直し <input type="checkbox"/> 地域活性化支援事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 地域担い手育成支援の実施 <input type="checkbox"/> 地域まちづくり研修の開催 <input type="checkbox"/> 地域まちづくり推進アドバイザーの派遣 <input type="checkbox"/> 地域担当職員制度の運用	<input type="checkbox"/> 地域まちづくり交付金の交付 <input type="checkbox"/> 地域活性化支援事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 地域担い手育成支援の実施 <input type="checkbox"/> 地域まちづくり研修の開催 <input type="checkbox"/> 地域まちづくり推進アドバイザーの派遣 <input type="checkbox"/> 地域担当職員制度の運用	<input type="checkbox"/> 地域まちづくり交付金の交付 <input type="checkbox"/> 地域活性化支援事業補助金の交付 <input type="checkbox"/> 地域担い手育成支援の実施 <input type="checkbox"/> 地域まちづくり研修の開催 <input type="checkbox"/> 地域まちづくり推進アドバイザーの派遣 <input type="checkbox"/> 地域担当職員制度の運用	
	年度実績	<input checked="" type="checkbox"/> 地域まちづくり交付金交付(22地区 21,990千円) <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化支援事業補助金交付(10地区 2,167千円) <input checked="" type="checkbox"/> 交付金と補助金の現行制度の検証・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 地域担い手育成支援(研修6回 149人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域まちづくり交流会開催(約130人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域まちづくり推進アドバイザー派遣(3地区3人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域担当職員が地域まちづくり協議会の会議に出席(4人で年間127回)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域まちづくり交付金交付(22地区 21,191千円) <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化支援事業補助金交付(7地区 1,716千円) <input checked="" type="checkbox"/> 地域担い手育成支援(研修6回 100人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域まちづくり研修については新型コロナウイルス感染症の影響で開催できず。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域まちづくり推進アドバイザー派遣(3地区3人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域担当職員が地域まちづくり協議会の会議に出席(4人で年間104回)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域まちづくり交付金交付(22地区 19,667千円) <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化支援事業補助金交付(7地区 1,844千円) <input checked="" type="checkbox"/> 地域担い手育成支援(研修6回 176人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域まちづくり研修については新型コロナウイルス感染症の影響で開催できず。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域まちづくり推進アドバイザー派遣(1地区1人) <input checked="" type="checkbox"/> 地域担当職員が地域まちづくり協議会の会議に出席(4人で年間138回)	
事業の計画・実績	計画額	事業費	31,400千円	31,400千円	31,400千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	31,400千円	31,400千円	31,400千円
	予算額	事業費	26,531千円	25,342千円	25,470千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	26,531千円	25,342千円	25,470千円
	決算額	事業費 ①	26,044千円	24,365千円	23,016千円
		国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他	26,044千円	24,365千円	23,016千円
人件費	総人件費 ②	19,623千円	19,598千円	19,758千円	
	一般職員	19,623千円	19,598千円	19,758千円	
	所要人員	2.50	2.50	2.50	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
総コスト(①+②)		45,667千円	43,963千円	42,774千円	
受益者負担率		0.0%	0.0%	0.0%	

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
①	名称	地域担い手研修の参加者数	計画値	180	180	180
		地域担い手研修に参加する地域住民の延べ人数	実績値	149	100	176
			単位	人	人	人
②	名称	地域担い手研修の受講者によるサロン開催回数	計画値	3	4	5
		地域担い手研修の受講者が運営や進行を行うサロンの開催回数	実績値	1	0	0
			単位	回	回	回
③	名称	地域活性化支援事業補助金交付数	計画値	10	12	14
			実績値	10	7	7
			単位	件	件	件

⑤ 事業の改善	⑤ 事業の改善
【前回評価の対応方針の概要を記入】	【前回評価の対応方針の概要を記入】
地域まちづくり推進アドバイザー派遣制度を活用して、まちづくりに関する研修会を開催するよう積極的に促す。その際、コロナ禍でもより多くの地域住民に参加してもらえるよう分散開催やオンライン開催などを提案する。また、ホームページから各地域まちづくり協議会のより多くの情報を取得できるよう、地域担当職員が情報の内容や更新頻度を確認し、更なる情報発信を促す。地域担い手の発掘・育成を目的とした研修会等を、より多くの方に参加してもらえる環境整備を行い、継続的に開催する。	地域まちづくり推進アドバイザー派遣制度を活用して、まちづくりに関する研修会を開催するよう積極的に促す。その際、コロナ禍でもより多くの地域住民に参加してもらえるよう分散開催やオンライン開催などを提案する。また、ホームページから各地域まちづくり協議会のより多くの情報を取得できるよう、地域担当職員が情報の内容や更新頻度を確認し、更なる情報発信を促す。地域担い手の発掘・育成を目的とした研修会等を、より多くの方に参加してもらえる環境整備を行い、継続的に開催する。
【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】
地域まちづくり推進アドバイザー派遣制度を活用して、まちづくりに関する研修会を開催するよう積極的に促す中で、コロナ禍でもより多くの地域住民に参加してもらえるよう分散開催やオンライン開催などを提案した。ホームページについては、地域担当職員が情報の内容や更新頻度を確認し、更なる情報発信を促した。さらに、引き続き地域担い手の発掘・育成を目的とした研修会等を開催した。	地域まちづくり推進アドバイザー派遣制度を活用して、まちづくりに関する研修会を開催するよう積極的に促す中で、コロナ禍でもより多くの地域住民に参加してもらえるよう分散開催やオンライン開催などを提案した。ホームページについては、地域担当職員が情報の内容や更新頻度を確認し、更なる情報発信を促した。さらに、引き続き地域担い手の発掘・育成を目的とした研修会等を開催した。

評価		(判定)
⑥ 事業の評価	【計画どおりに実施できたか】 地域活性化支援事業補助金を活用し、地域の活性化が図られた。地域担い手研修については、コロナ対策を徹底するとともに、より多くの方が受講できるようオンラインや録画配信を活用し6回開催した。地域まちづくり推進アドバイザーの派遣については積極的に周知したものの、コロナ禍の影響で分散開催を予定していた地区への派遣が中止となるなど、1地区へ1回の派遣にとどまった。地域担当職員は、昨年に引き続き、コロナ禍における事業の開催や会議の運営方法、交付金の使途等、これまでにない対応方法等の多くの相談に対応した。	A 計画どおり実施できた
	【成果は順調に上がったか】 地域まちづくり協議会に人的支援や財政支援を行うことで、コロナ禍においても協議会の継続的な活動につながった。まちづくりに関する研修会を開催した1地区については、研修内容を踏まえて役員と代議員が研修後に意見交換会を行うなど地域まちづくり協議会の活動に対する理解が深まった。ホームページについては、情報の内容や更新頻度が向上した地域がある一方、事業が行えないことで更新が停滞した地域もあった。地域担い手研修については、地域のみらいづくりアカデミーをオンラインで開催するとともに、各地域で録画配信を視聴する方法が浸透したこともあり、過去最多の延べ176人の参加があった。	B まずは成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	対応	効果	次期実施計画への方向性
	【課題は何か】 地域まちづくり協議会の必要性や活動の目的に対する住民の理解が進まない地域や役員交代等により希薄化している地域があり、改めてまちづくりに関する研修会等の開催を促しているが、コロナ禍で多くの地域住民が集まりにくい状況にある。ホームページはコロナ禍で事業が出来ないこともあり更新頻度が減った地域もある。コロナ禍でこれまでの慣例だけで事業ができない状況の中、各地域まちづくり協議会の新たな課題に対する支援が必要である。			<input type="checkbox"/> 継続（拡大） <input checked="" type="checkbox"/> 継続（現状維持） <input type="checkbox"/> 継続（縮小） <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	【課題に対し、どのように対応するか】 地域まちづくり協議会の必要性を理解してもらうため、地域まちづくり推進アドバイザー派遣制度を活用して、まちづくりに関する研修会を開催するよう促すとともに、より多くの地域住民に参加してもらえるよう開催方法等について支援を行う。また、ホームページについて、掲載内容や情報発信の手法について支援を行う。地域担い手の発掘・育成を目的とした研修会等について、オンラインや録画配信等を活用し、さらに多くの方に参加してもらえる環境整備を行う。			
	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 地域まちづくり協議会の必要性や活動の目的をすべての構成員に理解してもらうことで、自立・継続した地域まちづくりの取り組みが展開される。また、地域まちづくり協議会のホームページから地域住民がより多くの情報を取得することで、地域まちづくり協議会の活動に関心を持ってもらえる。地域の担い手の発掘・育成を目的とした研修会を開催することで、地域まちづくり協議会の人材と活動に広がりができる。			
	対応時期	令和4年度		

【1次評価者】	市民文化部 まちづくり協働課 地域まちづくりグループリーダー 高野 利人
【最終評価者】	市民文化部 まちづくり協働課長 原 正一

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	A	A	A	A	A
	成果	A	A	A	B	B

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)	25,470 千円
令和2年度からの繰越額	千円
令和3年度の最終予算額	25,470 千円
令和4年度への繰越額	千円